

「賛助会員の会」設立報告

北海道大学 金子俊一（理事）（文責）

概要：秋季大会会期中（名古屋大学）の9月28日、学会の新しい活動の一つとして、「賛助会員の会」の設立総会が、75名を越える参加者を集めて開催された。設立総会と併せて設立記念講演、昼食懇談会、および第1回運営委員会を開催し、続く学会評議員会においてもその活動について報告がなされ、学会幹部らの厚い期待をいただいた。以下概略を報告する。

1. まえがき

賛助会員相互および学会幹部らとの交流の定常的機会を作りたいという森協会長の強い希望を背景として、「賛助会員の会」企画が平成22年度春の理事会に提案され、上田副会長（パナソニック）、須藤理事（ファナック）を中心として具体的な検討に入り、平成22年度秋季大会中に、設立総会を開催することとし、その準備を進めて来た。

2. 設立総会

平成22年9月28日（火）10:30-11:00、名古屋大学東山キャンパス豊田講堂シンポジウム会議室にて、75名を超える参加者を集めて、設立総会が開催された。発起人代表として森協会長挨拶の後、上田副会長より、設立趣意書が提案された。趣旨を引用すると「精密工学会の賛助会員（法人会員）相互の交流、学会幹部との交流、更には、賛助会員に対する学会からのサービス等々の提供を通じて、様々なメリットを享受頂く場として、「賛助会員の会」を設立し、賛助会員の活動活性化を図る」とあり、211社（平成22年9月現在）の賛助会員に対する学会の新しいタイプの活動の一つとして期待が大きい。活動形態として、先に紹介したニューテクノフォーラム（春秋大会中）を中心とした技術交流、懇親の場としての昼食懇談会などを、まずは予定した。「賛助会員の会」会長として、龍田康登氏（マツダ常務取締役、トヨタエイトック代表取締役社長）を信任の上選出した。次に、運営委員会の設置を承認し、同メンバーとして、上田委員長を含む20名の委員、2名のアドバイザー（理事）を選出した。

3. 設立記念講演会

設立総会后に同一会場にて、須藤理事司会による設立記念講演会が開催され、牧野正志氏（パナソニック取締役）による「環境革新企業を目指すパナソニックのモノづくり」と題する講演をいただいた。最新かつ豊富な内容で、パナソニックの進めるモノづくり革新を支えるための様々な環境経営の試みなどに関して講演いただいた。

4. 昼食懇談会

設立記念講演会後に会場を移して、招待講演者、参加者を交えた昼食懇談会を開催した。軽い昼食を摂りながら 1 時間程の懇談であったが、賛助会員どうし、あるいは森協会長はじめ学会幹部を含む参加者の間で和気藹々とした懇親の機会を得た。

5. 第 1 回運営委員会

同日 13:00 より、第 1 回運営委員会を開催した。まず、運営規程（案）について議論すると共に、当初の主な活動として、総会（春秋大会併催の年 2 回）、ニューテクノフォーラム（NTF）、昼食懇談会を設定し運営する事を合意した。中でも目玉企画としての NTF においては、最新技術に関する講演会、会員からの話題提供、パネルディスカッションなどを企画する予定であり、運営委員会では、環境対応最新技術、高品位加飾加工技術、マイクロ・ナノ加工技術、モノづくり立国復活に向けた人材育成などの案が提案された。更に、電子メールを活用して議論を深めることとしたが、広く賛助会員からの希望や要請について、運営委員会にお寄せいただくことを期待している。

6. まとめ

本会は活動の端緒についたばかりである。賛助会員の活性化をどのように支援していけるかという新しい試みである。会員諸氏のご意見を広くお寄せいただくことを期待している。



写真 1 「賛助会員の会」 設立総会の様子



写真 2 森協会長の挨拶



写真3 「賛助会員の会」 龍田会長の挨拶



写真4 設立記念講演の牧野氏



写真5 昼食懇談会の様子